

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年11月13日
【四半期会計期間】	第189期第2四半期（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）
【会社名】	大東紡織株式会社
【英訳名】	Daito Woolen Spinning & Weaving Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 算 正澄
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋小舟町6番6号
【電話番号】	03(3665)7843
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 加久間 雄二
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小舟町6番6号
【電話番号】	03(3665)7843
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 加久間 雄二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第189期 第2四半期連結 累計期間	第189期 第2四半期連結 会計期間	第188期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	5,381,546	2,853,165	11,632,021
経常損失(千円)	222,550	70,380	29,263
四半期(当期)純損失(千円)	270,890	114,079	173,834
純資産額(千円)	-	6,414,733	6,715,347
総資産額(千円)	-	26,702,544	27,641,286
1株当たり純資産額(円)	-	196.56	206.37
1株当たり四半期(当期)純損失金額(円)	9.05	3.81	5.80
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	22.0	22.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	830,472	-	447,991
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	3,093,514	-	1,579,162
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,343,897	-	1,258,611
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	-	833,141	1,753,728
従業員数(人)	-	104	108

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。

2. 売上高には、消費税等は含んでいない。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していない。

2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はない。また、主要な関係会社における異動もない。

3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はない。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(人)	104 (878)
---------	-----------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は当第2四半期連結会計期間の平均人員を()外数で記載している。

(2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(人)	38 (23)
---------	---------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は当第2四半期会計期間の平均人員を()外数で記載している。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

当社グループの生産・販売品目は広範囲かつ多種多様であり、同種の製品であっても、その形態、単位等は必ずしも一様ではなく、また受注生産形態をとらない製品もあり、事業の種類別セグメントごとに生産規模及び受注規模を金額あるいは数量で示すことはしていない。

このため生産、受注及び販売の状況については、「3. 財政状態及び経営成績の分析」における各事業の種類別セグメント業績に関連付けて示している。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間のわが国経済は、米国を中心とする世界景気の急激な減速を背景に消費者心理にかけりが見える状況となり、かつ、円高の影響などもあり企業業績が弱含みとなった。

このような状況下で、繊維・アパレル業界においては、消費者が衣料品の購入を控える傾向が強まり、それに加えて天候不順で夏物商戦が振るわず、業界全体として非常に厳しい状況で推移した。

不動産賃貸業界、特に商業施設については立地を絞った新規ショッピングセンターの建設が続いているが、小売業の売上が減少する中、新規出店は減少している。

このような事業環境の中で、当社グループは平成20年度からスタートした新中期経営計画「HONKI 2008 三ヵ年計画」の諸施策に取り組んだ。

しかしながら、不動産事業における「サントムーン柿田川」第2期開発事業（平成19年12月に竣工）に伴う賃料収入の大幅増加があったものの、繊維・アパレル事業については依然として続く原材料高や天候不順、衣料品の買い控えの影響を受け不振であった。この結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高2,853百万円、営業利益15百万円、経常損失70百万円となった。また、投資有価証券売却益等の特別利益9百万円及び固定資産処分損等の特別損失2百万円をそれぞれ計上した結果、四半期純損失は114百万円となった。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりである。

(繊維・アパレル事業)

素材部門については、非塩素防縮加工のEウールはエコ防縮という商品性から引き合いは増えているが、価格面で苦戦を強いられ売上高は前年同期を下回った。

ユニフォーム部門については、民需は依然として原材料高が続いたものの、新規取引先の開拓などにより売上高は前年同期を上回った。官公需は概ね計画通りに進み売上高は前年同期を上回った。

衣料部門の紳士衣料については、重衣料は連結子会社の販売不振により売上高は前年同期を下回った。カジュアル衣料は市場が比較的堅調に推移した結果、売上高は前年同期を上回った。婦人衣料については、総じて店頭売上の悪化に伴う受注減により売上高は前年同期を下回った。

寝装品部門については、市場全体の販売が低迷している中で、新規販売チャネル・新規市場の開拓に努めたところ、夏場にエコ関連商品を新たに販売したことなどもあり売上高は前年同期を上回った。

この結果、繊維・アパレル事業は売上高2,271百万円、営業損失85百万円となった。

(不動産事業)

不動産賃貸事業強化の観点から推進してきた「サントムーン柿田川」第2期開発事業（平成19年12月に竣工）による賃料収入の増加が寄与し、売上高は前年同期を上回った。

また、テナント退店後に「サントムーン柿田川」第3期開発事業として進めてきた「サントムーンアネックス」が平成20年9月に完了し、静岡県東部地域における地域一番の商業施設として競争力をますます充実した。

この結果、不動産事業は売上高581百万円、営業利益190百万円となった。

(注) 1. 上記の事業の種類別セグメントの業績に記載している営業利益は、セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載している。

2. 所在地別セグメントの業績については、全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、記載を省略している。

3. 当社の消費税等に係る会計処理は、税抜方式によっているため、記載した金額には消費税等は含まれていない。

4. 記載している見通し等将来についての事項は、四半期報告書提出日現在において判断したものであり、予測しえない経済環境の変化等様々な要因があるため、その結果について当社グループが保証するものではない。

(2) 財政状態の分析

資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は26,702百万円となり、直前四半期末に比べ0百万円減少（直前四半期比0.0%減）した。これは主に、現金及び預金の減少123百万円、受取手形及び売掛金の増加168百万円によるものである。

負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は20,287百万円となり、直前四半期末に比べ45百万円増加（直前四半期比0.2%増）した。これは主に、短期借入金の減少231百万円、設備支払手形の減少895百万円、長期借入金の増加963百万円によるものである。

純資産

当第2四半期連結会計期間末における少数株主持分を含めた純資産の残高は6,414百万円となり、直前四半期末に比べ46百万円減少（直前四半期比0.7%減）した。これは主に、四半期純損失114百万円、為替換算調整勘定の増加40百万円、少数株主持分の増加40百万円によるものである。

(3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローで183百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで1,067百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで731百万円のプラスとなった。

これらの各活動に加え、為替相場の変動による資金に係る換算差額18百万円を増加した結果、資金の残高は833百万円となり、直前四半期末に比べ133百万円減少した。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりである。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、183百万円のプラスとなった。これは主に、減価償却費153百万円によるものである。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,067百万円のマイナスとなった。これは主に、「サントムーン柿田川」第3期開発事業等に伴う有形及び無形固定資産の取得による支出1,081百万円によるものである。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、731百万円のプラスとなった。これは主に、短期借入金の純増加額253百万円、長期借入れによる収入1,344百万円、長期借入金の返済による支出865百万円によるものである。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はない。

(5) 研究開発活動

該当事項なし。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はない。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の改修について完了したものは、次のとおりである。

不動産事業において、当社が前四半期連結会計期間末に計画していた「サントムーン柿田川」等商業施設の改修工事（第3期開発事業）が、平成20年9月に完了した。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	96,000,000
計	96,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	30,000,000	30,000,000	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	-
計	30,000,000	30,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項なし。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年7月1日～ 平成20年9月30日	-	30,000,000	-	1,500,000	-	503,270

(5)【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
中央三井信託銀行(株)	東京都港区芝3-33-1	1,478	4.93
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4G)	東京都中央区晴海1-8-11	893	2.98
シービーエヌワイ デイエフエイ インターナショナル キャップ バ リュウ ポートフォリオ (常任代理人 シティバンク銀行 (株))	1299 OCEAN AVENUE, 11F, SANTA MONICA, CA 90401 USA	666	2.22
三井住友海上火災保険(株)	東京都中央区新川2-27-2	610	2.03
(株)デベロッパ-三信	東京都中央区日本橋室町3-4-4	550	1.83
倉持 真孜	茨城県つくばみらい市	476	1.59
日本証券金融(株)	東京都中央区日本橋茅場町1-2-10	336	1.12
小泉 芳夫	埼玉県川口市	320	1.07
ピクテ アンド シー ヨーロッパ エスエー (常任代理人 (株)三井住友銀行)	1 BOULEVARD ROYAL L-2016 LUXEMBOURG LUXEMBOURG	260	0.86
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	228	0.76
計	-	5,817	19.39

(注) 上記日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)の所有株式数のうち信託業務に係る株式数は194千株である。なお、それらの内訳は、投資信託設定分108千株、年金信託設定分86千株となっている。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 125,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 29,680,000	29,680	-
単元未満株式	普通株式 195,000	-	-
発行済株式総数	30,000,000	-	-
総株主の議決権	-	29,680	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が13,000株含まれている。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数13個が含まれている。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
大東紡織(株)	東京都中央区日本橋小舟町 6-6	56,000	-	56,000	0.19
宝繊維工業(株)	静岡県浜松市北区初生町 1255-2	69,000	-	69,000	0.23
計	-	125,000	-	125,000	0.42

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	102	113	135	115	99	80
最低(円)	83	91	97	89	76	63

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものである。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はない。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成している。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,083,141	1,993,728
受取手形及び売掛金	2,356,058	2,969,682
有価証券	740,208	740,625
商品	815,989	821,925
製品	24,607	4,133
半製品	13,088	13,017
原材料	155,359	154,483
仕掛品	268,304	259,672
繰延税金資産	-	135,635
その他	293,492	455,601
貸倒引当金	23,393	25,788
流動資産合計	5,726,858	7,522,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	₂ 9,913,432	₂ 8,984,892
土地	9,466,933	9,466,933
その他(純額)	522,424	518,232
有形固定資産合計	₁ 19,902,790	₁ 18,970,058
無形固定資産	110,744	113,229
投資その他の資産		
投資有価証券	342,520	388,288
破産更生債権等	787,979	814,389
その他	365,913	367,450
貸倒引当金	534,262	534,848
投資その他の資産合計	962,151	1,035,279
固定資産合計	20,975,686	20,118,567
資産合計	26,702,544	27,641,286

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,585,294	1,968,100
短期借入金	4,340,145	2,965,826
未払法人税等	51,430	16,277
繰延税金負債	468	-
返品調整引当金	83,929	203,415
賞与引当金	31,460	29,464
その他	841,002	2,687,006
流動負債合計	6,933,732	7,870,089
固定負債		
長期借入金	6,447,570	6,477,710
長期預り保証金	3,851,464	3,399,034
繰延税金負債	11,246	146,041
再評価に係る繰延税金負債	2,941,904	2,941,904
退職給付引当金	78,393	56,208
その他	23,500	34,950
固定負債合計	13,354,078	13,055,849
負債合計	20,287,810	20,925,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	445,199	174,308
自己株式	6,378	6,096
株主資本合計	1,551,798	1,822,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,885	35,845
繰延ヘッジ損益	2,314	2,184
土地再評価差額金	4,264,422	4,264,422
為替換算調整勘定	55,865	59,043
評価・換算差額等合計	4,333,858	4,357,126
少数株主持分	529,076	535,250
純資産合計	6,414,733	6,715,347
負債純資産合計	26,702,544	27,641,286

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
売上高	5,381,546
売上原価	4,254,018
売上総利益	1,127,528
販売費及び一般管理費	1,173,174
営業損失 ()	45,646
営業外収益	
受取利息	4,943
その他	15,083
営業外収益合計	20,027
営業外費用	
支払利息	177,941
その他	18,990
営業外費用合計	196,931
経常損失 ()	222,550
特別利益	
固定資産売却益	290
投資有価証券売却益	9,552
貸倒引当金戻入額	2,979
特別利益合計	12,821
特別損失	
固定資産処分損	3,358
その他	888
特別損失合計	4,246
税金等調整前四半期純損失 ()	213,975
法人税、住民税及び事業税	46,144
法人税等調整額	13,506
法人税等合計	59,650
少数株主損失 ()	2,735
四半期純損失 ()	270,890

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	2,853,165
売上原価	2,262,649
売上総利益	590,516
販売費及び一般管理費	574,830
営業利益	15,685
営業外収益	
受取利息	541
その他	11,288
営業外収益合計	11,829
営業外費用	
支払利息	88,985
その他	8,910
営業外費用合計	97,895
経常損失()	70,380
特別利益	
投資有価証券売却益	9,552
貸倒引当金戻入額	15
特別利益合計	9,567
特別損失	
固定資産処分損	1,973
その他	840
特別損失合計	2,814
税金等調整前四半期純損失()	63,628
法人税、住民税及び事業税	33,460
法人税等調整額	20,161
法人税等合計	53,622
少数株主損失()	3,171
四半期純損失()	114,079

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	213,975
減価償却費	298,223
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,979
返品調整引当金の増減額(は減少)	119,485
賞与引当金の増減額(は減少)	1,996
退職給付引当金の増減額(は減少)	22,185
受取利息及び受取配当金	8,104
支払利息	177,941
固定資産除売却損益(は益)	3,068
投資有価証券売却損益(は益)	9,552
売上債権の増減額(は増加)	637,352
たな卸資産の増減額(は増加)	24,246
仕入債務の増減額(は減少)	382,568
預り保証金の増減額(は減少)	481,108
その他	145,204
小計	1,006,168
利息及び配当金の受取額	8,485
利息の支払額	172,078
法人税等の支払額	12,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	830,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	3,108,549
固定資産の除却による支出	400
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,147
投資有価証券の取得による支出	705
投資有価証券の売却による収入	21,516
その他	6,523
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,093,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	251,675
長期借入れによる収入	2,244,000
長期借入金の返済による支出	1,151,497
自己株式の純増減額(は増加)	281
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,343,897
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,442
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	920,587
現金及び現金同等物の期首残高	1,753,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	833,141

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 第1四半期連結会計期間から、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に 関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算 上必要な修正を行っている。 これにより、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期 純損失に与える影響はない。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 4,990,653千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 4,723,736千円
2 担保資産	2 担保資産
担保に供されている資産で、事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりである。	
建物及び構築物 9,453,657千円	建物及び構築物 8,510,943千円
3 受取手形割引高 250,874千円	3 受取手形割引高 87,429千円

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。	
給料	400,560千円
賞与引当金繰入額	28,157千円
退職給付費用	10,126千円
役員退職慰労引当金繰入額	2,450千円

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。	
給料	199,355千円
賞与引当金繰入額	9,095千円
退職給付費用	5,171千円
貸倒引当金繰入額	620千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	
現金及び預金勘定	1,083,141千円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金等	250,000千円
現金及び現金同等物	<u>833,141千円</u>

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 30,000,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 56,434株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項なし。

4. 配当に関する事項

該当事項なし。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)

	繊維・アパレル事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,271,218	581,946	2,853,165	-	2,853,165
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	108	2,358	2,467	(2,467)	-
計	2,271,327	584,305	2,855,632	(2,467)	2,853,165
営業利益又は営業損失()	85,302	190,461	105,158	(89,473)	15,685

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	繊維・アパレル事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,317,689	1,063,857	5,381,546	-	5,381,546
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	404	4,717	5,122	(5,122)	-
計	4,318,094	1,068,575	5,386,669	(5,122)	5,381,546
営業利益又は営業損失()	186,676	343,698	157,021	(202,667)	45,646

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、事業の種類類似性並びに製品の種類、性質及び販売市場等の類似性を考慮して区分している。

2. 各事業区分の主要品目

事業区分	売上区分	主要品目
繊維・アパレル事業	素材部門	糸、織物
	ユニフォーム部門	ユニフォーム用素材、制服
	衣料部門	紳士服、婦人服
	寝装品部門	ふとん、毛布、シーツ
不動産事業		不動産賃貸、商業施設の運営・管理

3. 当第2四半期連結累計期間に「サントムーン柿田川」第3期開発の改修工事が完了したこと等に伴う不動産事業の資産の増加額は1,220,259千円である。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略している。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略している。

(リース取引関係)

所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っているが、リース取引残高が前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため記載していない。

(有価証券関係)

満期保有目的の債券で時価のあるもの及びその他有価証券で時価のあるものの一部が、事業の運営において重要なものとなっているが、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため記載していない。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を利用しているが、すべてヘッジ会計が適用されているため、該当事項なし。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

当第2四半期連結会計期間においてストック・オプションを付与等していないため、該当事項なし。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項なし。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	196円56銭	1株当たり純資産額	206円37銭

2. 1株当たり四半期純損失金額

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純損失金額	9円5銭	1株当たり四半期純損失金額	3円81銭
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していない。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していない。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期純損失(千円)	270,890	114,079
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	270,890	114,079
期中平均株式数(株)	29,945,182	29,944,379

(重要な後発事象)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

当社は、平成20年10月31日開催の取締役会決議に基づき、同日付で㈱コスモエイとの間で事業の一部を譲り受ける契約を締結した。

(1) 事業の一部譲受の目的

大手商社など有名ブランドを有する取引先に対して、企画提案型OEM事業(相手先ブランドによる生産)を行っている㈱コスモエイの事業の一部を譲り受けることにより、当社の目指す提案型OEM事業の強化に資するとともに、販路の拡大が図れるものと判断し本事業譲受契約を締結することとした。

(2) 譲り受ける相手会社の名称

㈱コスモエイ

(3) 譲り受ける事業の内容

ミッシー、ミセスを中心としたニット、カット&ソー、布帛の企画、生産に係る事業

(4) 譲り受ける資産の額

流動資産 39,775千円

固定資産 14,241千円

(5) 譲受の時期

㈱コスモエイは、平成20年8月29日付で東京地方裁判所に民事再生を申請し、現在再生手続中である。このため、事業譲受日は東京地方裁判所による許可を得てから当該許可を得た日を含めて3営業日と予定している。

(6) その他重要な事項の内容

事業譲受契約は東京地方裁判所による許可を停止条件としている。

2【その他】

該当事項なし。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月11日

大東紡織株式会社

取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 本多 潤一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中桐 光康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大東紡織株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大東紡織株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていない。